

やすらぎ通信

第53号（平成27年4月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

卯月(うづき)

さくらさくら

作詞・作曲 不詳

さくら さくら
やよいの空は 見わたす限り
かすみか雲か 匂いぞ出ずる
いざやいざや 見にゆかん

(別バージョンの歌詞)

さくら さくら
野山も里も 見わたす限り
かすみか雲か 朝日ににおう
さくらさくら 花ざかり



喫茶室

桜の開花の便りが日本の各地から届けられる時期になってきました。花だよりに誘われて外出の機会を増やされる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。農耕民族の伝統を持つ私たちにとって気温の上がる4月は活動開始の季節といえます。

今月の節気は清明（せいめい）と穀雨（こくう）で今年はそれぞれ4月5日と20日となります。このうち穀雨は穀物を芽吹かせる春雨のことを示し、この頃雨で潤った田畑は種まきの好機を迎えます。私たちは毎年この時期に春雨が降るのは当たり前とつい思いがちですが、食物を育てるために必要な水が適切な時期に降り注ぐという幸運に改めて感謝すべきでしょう。春雨から始まり梅雨、台風、雪と形を変え恵みと戒めをもたらしてくれる水を巡る1年がこの頃から始まるといってもいいでしょう。

そもそも稲作民族である私たちは、古来より稲作に必要な水との共存を不文律として暮らしてきました。稲を作るためには、水が不可欠であり水の管理は一人ひとり個別にできるものではなく地域の共同体が総力を挙げて維持する必要があります、それゆえに人と人との間に強い結びつきが求められました。農作業から冠婚葬祭に至るまで地域総出で行う習俗が良くも悪くも今日まで続く私たちの文化を形作っているでしょう。

さて、この時期に皆でワイワイ連れ立って楽しむ日本的な習俗といえばやはりお花見でしょうか。家族や友人、或いは地域や会社といった様々な人と人とのつながりで出かけられる方が多いと思われまます。お花見は日本人が古来より親しんできた代表的な春の行事で、平安時代に貴族たちがそれまでの梅や萩に代わって桜を春の花の代表として位置づけ、歌を詠み宴を開いたことによるそうです。また、農民の間でも桜の木には春になって山から降りてきた田の神様が宿り、その花の咲き方でその年の収穫を占っていたようで、そのためいつしか桜の木の下での豊作祈願が花見になったという話もあるそうです。その後、江戸時代になると庶民の間で花見が春の行楽として広まり、桜の品種の改良もあって花見の名所が各地にできて賑わうこととなりました。

花を愛でるといふ心はおそらくどこの国の人の心にもある気持ちだと思われまます。それどころか20万年前に出現したネアンデルタール人は花を副葬品として遺体に添えて埋葬していたという説もあるくらいです。しかし、お花見のように一斉に皆が桜という一種類の花のもとに集い、笑い、食べ、歌い楽しむ行為は日本独特の姿といえるでしょう。先に述べた稲作民族としての遺伝子や神が万物に宿り一本の木でさえも豊作を願う神になる考え方、これから始まる農繁期の前の息抜き、一年に一度僅かな期間に一斉に咲き散る儂い花の潔さ、これらすべてがないまぜとなり脈々と受け継がれる行事となったのでしょう。その点でお花見は日本文化の象徴といえるのかもしれませんが。毎年、私たちは美しく咲いた桜の花を愛でながら知らず知らずのうちにそこに日本という自然と風土そしてその地に住む愛すべき人たちと伝統の大切さを噛みしめているのかもしれませんが。皆さん、今年もお花見を親しい人とお楽しみください。（来月号より筆者が替わります。2年間ご愛読ありがとうございました。）

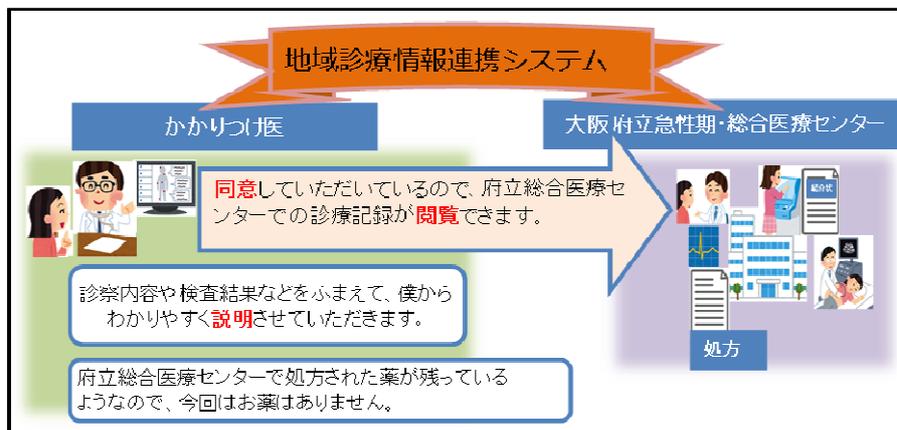
NEWS

【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～医療情報部からのお知らせ】

「情報」は、「伝えることで、受け手の知識を変化させることができることから」を指す言葉です。日々、大量の情報が飛び交う医療施設では、「漏えい（洩らすこと）、き損（壊すこと）又は滅失（なくすこと）」のような事故を防ぎながら、情報を必要などころに速やかに伝え、確実に保存することが求められます。情報企画室と診療情報管理室から成る当センターの医療情報部は、医師、看護師、医療情報技師、診療情報管理士や情報技術者を擁し、電子カルテなどの診療にかかわる情報の管理と、情報機器やネットワークの維持管理と改善を担当しています。

さて、このたび、大阪府の「地域医療機関 ICT 連携整備事業」の支援で、『地域診療情報連携システム』を整備することになりましたので、その概要をご紹介します。

このシステムのご利用には、当センターの登録医であることと、インターネットにつながるパソコンとが必要です。パソコンとネットワークは、インターネット上のセキュリティに配慮したサイト（ヤフージャパンのホームページなど）がスムーズに閲覧できれば、まず OK です。ただし、サポートの終了した Windows XP 等のご利用いただけません。利用者 ID と初期パスワードは、利用を申請くださった登録医の先生方に、セキュリティの追加設定や研修のご案内とともにお届けします。



このシステムのご利用で、情報の提供にあらかじめ同意された患者さんの、当センターでの診療の記事、データ、画像や文書などを、ご自分の場所で、ご都合のよい時に、使い慣

れたパソコンの画面でご覧になることができ、大切な患者さんの経過を正確に把握していただけます。さらに、当センターでは、「診療記録文書統合管理システム」(DACS)を情報の取りまとめに活用し、より効果的なわかりやすい情報提供をめざします。

正式な利用開始に先立ち、3月末には、インターネット上で診療や検査を予約する「カルナコネク」のご利用経験をお持ちの先生方に順次ご協力いただいて、試験運用を行いました。その結果を踏まえて調整し、本稼働にこぎつけようと考えております。

前世紀の末に地域の先生方からご要望いただいた、当センターの診療情報の電子的な提供がようやく実現することになりました。切れ目のない地域医療のために、このシステムをぜひ活用していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

医療情報部長 森 隆比古

【～地域の医療機関の皆様へ～脳神経外科からのお知らせ】

脳神経外科の疾患は脳や脊髄などの中枢神経を侵す病気です。このような病変を外科的に治療することにはやはりある程度のリスクが伴ってきます。手術に伴うリスクをできる限り少なくするために近年いろんな技術が利用されています。

まず神経内視鏡をご紹介いたしましょう。下垂体腺腫、閉塞性水頭症や脳内血腫などの疾患に対して当院でも広く応用しています。今まで顕微鏡では見えない深部病変でも神経内視鏡では詳細に観察することが可能になりました。さらに神経内視鏡は経鼻的あるいは穿頭だけで使用可能となるのでまさに低侵襲手術と言えるでしょう。



次に治療困難な深部や頭蓋底の脳腫瘍の手術では3次元ナビゲーションシステムが不可欠となってきました。顕微鏡手術下で術者が何処を操作しているのか確認することは簡単なことではありません。しかしながらナビゲーションシステムを利用することで術者が操作している所を3次元の画像でいつでも確認することができるのです。安全な手術を行う上で大変、重要なことです。

最後に神経モニタリングをご紹介します。脳外科の手術で術後に懸念される後遺障害が運動麻痺です。このようなリスクをなくすために神経モニタリング装置が利用されるようになりました。術中に運動神経が損なわれていないか確認することが可能であるので経験だけに頼らず客観的に評価することができ治療成績に大きく貢献しています。



当センター脳神経外科では以上の医療機器を多くの手術に利用することでさらなる治療成績の向上に努めてまいります。

脳神経外科主任部長 橋本宏之

【～地域の医療機関の皆様へ～腎臓・高血圧内科からのお知らせ】

1) 「慢性腎臓病の病診連携のための症例検討会」開催のご案内

平成 27 年度から新たに「慢性腎臓病の病診連携のための症例検討会」を開催いたします。この症例検討会は年 2 回開催予定で、地域の先生方からご紹介いただいた症例を毎回数例ずつ呈示し、我々腎臓専門医がどのように診断し、どのような考え方に基いて治療方針を決定するのか、そして安定した患者さんをどのよう



な形で地域の医療機関に逆紹介あるいは併診していくのかを先生方と具体的に討論することを目的としております。これにより、紹介のタイミングや連携のポイントなど先生方の疑問点が解決できればと考えております。ぜひ多くの先生方のご参加をお待ちしております。詳細につきましては改めまして連絡させていただきます。

2) 「慢性腎臓病対策外来」のご案内

慢性透析患者数は増加の一途であり、2013 年末のわが国における患者数は 31 万人余りとなっており、毎年 3 万 5 千人前後の患者さんが新たに透析に導入されている現状は変わらず続いております。

当科では透析導入を阻止するために 2013 年 12 月より慢性腎臓病対策外来を開設しており、当科通院中の患者さんだけでなく、地域の医療機関に通院中の患者さんにもご参加いただいております。

2015 年 慢性腎臓病対策外来の予定

| | | | |
|-----|-------------|------|------------|
| 1 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 | 7 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 |
| 2 月 | 透析についてよく知ろう | 8 月 | 慢性腎臓病と血圧管理 |
| 3 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 | 9 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 |
| 4 月 | 慢性腎臓病と血圧管理 | 10 月 | 慢性腎臓病と薬物療法 |
| 5 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 | 11 月 | 慢性腎臓病と栄養管理 |
| 6 月 | 慢性腎臓病と薬物療法 | 12 月 | 慢性腎臓病と血圧管理 |

貴院通院中の慢性腎臓病の患者さんがおられましたら、ぜひともお声をお掛けいただければと思います。慢性腎臓病対策外来に参加をいただく場合、「慢性腎臓病対策外来申込書」(診療情報提供書に代わるものです)にご記入の上、地域医療連携室まで FAX をお願い致します(カルナでの申し込みも可能です)。

○慢性腎臓病対策外来の予約方法

腎臓・高血圧内科通院中の患者さんは 7 番外来で予約を取っていただき、それ以外の患者さんは現在通院されている病院の主治医の先生から、当院地域医療連携室を通して「慢性腎臓病対策外来」の予約をとっていただく必要があります(インターネットによる予約も可能です)。

「慢性腎臓病対策外来」は集団指導と個別指導の両方を行いますので、1 回 5 組の参加に限定させていただきます。できるだけご家族と一緒にご参加ください。なお、「慢性腎臓病対策外来」は毎月第 1 月曜日の開催となりますので、地域からお申込みになる場合は、患者さんの病態把握と指導内容の準備のため、「慢性腎臓病対策外来予約申込書」を、少なくとも受診日の 1 週間前の月曜日までに地域医療連携室まで FAX していただきますようお願い申し上げます。

慢性腎臓病対策外来には通常の再診料(初診の場合は初診料)と、栄養指導に参加

された場合は栄養指導料（自己負担は200～600円程度）の費用が発生します。詳細は腎臓・高血圧内科外来（7番外来）、あるいは地域医療連携室にお訪ね下さい。

腎臓・高血圧内科主任部長 林 晃正

【「医療相談」コールセンターのご利用をー地域医療連携センター】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800（専用電話回線）

06-6692-2801（専用電話回線）

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

（年末年始、土・日・祝日除く）

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

（電話番号） 06-6692-1201（代表）にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

（受付時間） 午後3時～午後5時（平日のみ）

（対象診療科） 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科

皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科

神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

【診察予約時間の表示変更について】

平成 26 年 12 月以降の予約より、診察予約時間の表示を変更いたしました。

これまで、患者の皆様には 30 分単位の予約時間帯を案内していましたが、平成 26 年 12 月以降の予約は、予約時刻を案内しております。予約時刻に合わせてご来院くださいますようお願いいたします。

※ 診察は通常予約時刻順に行います。

当日の診療状況によりお待ちいただくことがあります。

再来受付機による受付番号は、診察順には関係ありませんのでご注意ください。

【「大阪府立病院のミッション」ホームページを公開しました】

平成 26 年 12 月から、「大阪府立病院のミッションー地域に根付く 5 つの医療ネットワークー」ホームページを公開しております。

このホームページでは、「府民の皆様命と健康を守る」という、大阪府立病院機構の役割についてご紹介しております。また、大阪府立病院機構の 5 つの病院で行っている医療の内容について、詳細をご覧ください。

大阪府立病院機構について、身近に感じてもらい、大阪府立病院機構の活動にご理解・ご賛同をいただけましたら幸いです。

(URL) <http://www.opho.jp/mission/>

【メディア掲載のお知らせ】

①読売新聞「深化する医療」に、腎臓病治療に関する記事が 3 回に渡って掲載されました。記事は後掲の読売新聞サイト「ヨミドクター」をご覧ください。

(URL) <http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/>

②平成 27 年 3 月 5 日の日本経済新聞に、「災害に強い病院、備え着々 耐震化・患者情報管理…」というタイトルで、電子トリアージ支援システムに関する記事が紹介されました。記事は下記の日本経済新聞 電子版のサイトをご覧ください。

(URL) <http://www.nikkei.com/>

【相愛大学連携 第 47 回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 4月15日(水) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 透析予防外来が変わります(糖尿病代謝内科主任部長 馬屋原 豊)
糖尿病と血圧の話(糖尿病看護認定 看護師 後藤博美)
塩分のおはなし(栄養管理室 管理栄養士 笠井香織)
参加費 無料

【第 29 回万代・夢寄席「桂かい枝独演会」】

日 時 4月21日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 桂かい枝
入場料 無料



【すこやかセミナー「老化でも起こる、嚥下障害とサルコペニア」】

日 時 4月24日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 リハビリテーション科副部長 北恵詩穂里
参加費 無料

【第 15 回病院ギャラリー企画展 田中 幸太郎『花火の光跡による抽象写真展』】

田中幸太郎(1901 - 1995)は、三重県伊勢市で生まれ、1932年に大阪で創作写真グループ稚草社の創立に参加されました。1948年、朝日新聞社出版局の仕事を始め、1955年から約10年間「日本の原風景・河内シリーズ」などを撮り続けました。

1962年、ピカソがカメラの前で懐中電灯を振ってデッサンする姿を思い出して、カメラのシャッターを開いたまま体全体を動かして夜空に打ち上がる花火の光跡をフィルムに収め、その後、花火による抽象写真家として知られるようになりました。

今回の展示は、「花火の光跡による抽象写真展」と題し、60代から撮り始めた花火の光跡による色鮮やかな抽象写真29作品を展示します。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 2月16日(月)～5月15日(金)まで
展示場所 本館2階 病院ギャラリー
展示作品 抽象写真 29作品

【(予告) 相愛大学連携 第 48 回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 5月12日(火) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 糖尿病とお口の関係(糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘)
糖尿病の薬について～薬を飲むタイミング～
(薬局 薬剤師 長光智也)
食物繊維の効用(相愛大学 准教授 角谷 勲)
参加費 無料

【(予告) 第5回リウマチ教室】

日 時 5月19日(金) 午後2時～3時30分
場 所 本館3階 講堂
内 容 関節リウマチの診断・検査・治療
(免疫リウマチ科主任部長
関節リウマチ・バイオサポートセンター長 藤原弘士)
高額療養費制度と介護保険について
(MSW 岡崎祐理子)
参加費 無料

【(予告) すこやかセミナー「こどもが熱を出したとき」】

日 時 5月22日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 小児科副部長 西浦博史
参加費 無料

【(予告) 第39回相愛大学連携コンサート「クラリネットアンサンブル」】

日 時 5月26日(火) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 未定
入場料 無料





【 管理栄養士のコーナー 】 ~ちょっとおいしい話~

寒い冬も終わり、ポカポカした春の陽気を感じるようになり、心地よい穏やかな季節になりました。

4月といえば、桜。桜といえば、お花見ですね。

今回は、お花見にもぴったりの、春色桜エビと筍の炊き込みご飯をご紹介します。

| 《材料》 | | (4人分) |
|---------------|------|----------|
| 米 | | 2 合 |
| 桜エビ(干し) | | 20 g |
| ゆでたけのこ(水煮でも可) | | 60 g |
| A { | だし汁 | 2 カップ |
| | 薄口醤油 | 小さじ2 杯 |
| | 酒 | 大さじ1.5 杯 |
| | 塩 | 小さじ1/2 杯 |
| 菜の花(茎は除く) | | 70 g |
| B { | 薄口醤油 | 小さじ1/2 杯 |
| | みりん | 小さじ1/2 杯 |

(1人前) エネルギー：302kcal たんぱく質：11.0g 脂質 0.9g 食塩相当量：1.6g

- ① 米は洗い、ざるにあげて30分ほど水気を切っておく。
- ② たけのこは食べやすい大きさの5mmの幅に薄切りにする。
- ③ 米とAを合わせて炊飯釜に入れて、桜エビとたけのこをのせて炊く。
※米と具は混ぜないように注意。
- ④ 菜の花は塩ゆでして、水をよく切り、2~3cmほどの長さに切り、Bで下味をつけておく。
- ⑤ 菜の花を炊き上がったご飯とよく混ぜて、器に盛る。



今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 入院調整 西井さんの巻】

私の所属している入院調整は、患者様が入院を申し込まれる際に提出される入院票の内容に基づき、入院して頂く日時や持ち物などを電話で案内しています。

電話でご案内を差し上げていると、患者様やご家族から様々なお問い合わせがあります。その中で一番多いのは入院時間についてです。

患者様から入院日が決定する前に、家族のご都合などで入院日時を早めに聞きたいとお電話をよく頂くのですが、空床を調整している段階では即答ができず、返事をお待ち頂くことがあります。

また、私たちの業務は、電話での連絡がほとんどです。しかし、時々電話が繋がらない事があり、最終的には仕方なく電報という手段でお知らせしています。急に電報を受け取られた時の患者様のお気持ちを考えると、最初の申込時の電話番号の記入や確認により一層の注意を払いたいと思います。

これからも、患者様に安心して入院していただけるように、患者様からのどのような質問にも心を込めた対応ができるよう努めていきたいと思っております。

その他のお知らせ

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。

価 格：1,998円（消費税8%込）



- ◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。
 - ◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。
 - ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
 - ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方
- 割引価格：1,700円（消費税8%込）

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。